ロジスティクス研究会
ファックス通信
題　字
第三代東ト協会長
浅 井 時 郎 氏
ロジ研ホームページ
http://www.ttal.jp

ひびき

２０２３年　９月１日発行　９月号　Ｎｏ．３２９

（一社）東京都トラック協会
ロ ジ 研 発 行
編　集　人　　中　村　克　敏
東京都新宿区四谷３丁目１番８号
ＴＥＬ．０３－３３５９－４１３７
ＦＡＸ．０３－３３５９－６０２０

ロジ研 年間統一テーマ　～ 和衷共済 ～

※※

◇『浅井会長との意見交換会』

副本部長　本部連絡副委員長　田中　秀明
〔練馬支部　東京港運送㈱〕

８月２日に本部連絡会が開催され、浅井隆会長と意見交換をさせて頂きました。

まずは 2024 年問題について。発効まで７カ月を切り、いよいよという感じです。政府から発表された「物流改革に向けた政策パッケージ」、またその施策の一環として策定されたガイドラインについて説明頂きました。トラックＧメンの人員増強に関して、国交省より会員のみなさまからの情報提供への協力要請があったとのことです。その他、燃料の高騰が収まらないなど、今後も厳しい状況が続く見通しです。しかしながら今回の 2024 年問題は社会的にも広く知られる所となり、荷主企業の注目度、認知度もこれまでになく高まっています。この機を逃さずに運賃、料金、燃料サーチャージ等、荷主との交渉に臨んでほしいとのお話を頂きました。

後半では参加者の質問や意見にお答え頂きました。まず、ドライバー不足の解決策としての外国人労働力の活用について。これは全ト協を中心に特定技能の中にドライバー職を入れる方向の働きかけを行っていく流れ。つぎに標準的な運賃の期限延長やタリフ見直しについて。期限に関しては「当面の間の延長」の「当面」は「ずっと」という意味だと発言する関係者がいること、タリフの見直しについてはすべてのモノが値上がりしているのでタリフ運賃も上がる方向での見直し。これについては、現状の標準的な運賃でも実際との乖離が激しい中で、さらに乖離が進むことで届け出をためらう事業者が増えるのでは？との意見も出ましたが、そこは届け出の仕方でカバー出来る、まずは届け出して頂いて交渉に使ってほしいとのことでした。大型トラックの制限速度引上げ議論については、路線事業者や一部地方の事業者から声が上がっているが、関東での要望はそれほど強くないとのことでした。

ところで意見交換をしている中で、パワーゲートの安全講習、運転免許の助成制度などについて、情報が会員に正しく届いていない、足りていないなどの印象を受ける場面がありました。ロジ研の面々には本部役職者も多く、比較的情報を取りやすい位置にいるはずです。そう考えると、全会員に広く正しく情報を行き渡らせるのは大変なことだと感じました。

浅井会長には引き続き協会運営にリーダーシップを発揮していただき、ロジ研は提言という形でサポートしていければと思います。浅井会長、お忙しい中ありがとうございました。

◇『ロジ研表彰受賞者を祝う会』

副本部長・企画副委員長　半田　一惠
〔中央支部　㈱入船物流システム〕

８月２日、会場内のカーテンを閉めてもギラギラと暑い日差しを感じる猛暑日ではありましたが、今年もロジ研の納涼会を明治記念館で開催しました。また、関東運輸局長・東京運輸支局長功労者表彰の受賞者の皆様をお祝いする会でもあり、たいへん盛り上がりを見せていました。

各表彰を受賞された方々です。

★令和５年 関東運輸局陸運関係功労者表彰受賞者ご芳名
松澤　和洋 様（杉並支部）　稲垣　貴志 様（練馬支部）
佐久間　恒好 様（練馬支部）　松下　章一 様（江戸川支部）
橋本　幸明 様（多摩支部）

★令和５年 東京運輸支局陸運関係功労者表彰受賞者ご芳名
山本　哲也 様（港支部）　村山　浩一 様（新宿支部）
武田　光宏 様（杉並支部）　※順不同

大変おめでとうございます!!

ロジ研メンバーから業界功労表彰者を出すことは、とてもうれしいことです。再度、「大変おめでとうございます!!」

本当はおめでたい話のままで終わりたいところですが、ご来賓の皆様のお言葉にもありましたが、我が業界は、2024年問題・人手不足・燃料高騰等課題が山積しています。みなさんと話をしていても「みんな同じような事を思っているんだ」と感じましたし、逆に「嘆いても解決しないな！」とも思いました。今私たちは、やれるべき事を、しっかりとやるしか道は開かれません。では「やれるべきこととは何でしょうか？」私は、１つ目は運賃及び料金設定届出書の届け出率を上げることだと思っています。それについては様々な考えもあるとは思いますが、ここを変えないと業界の発展はないなと思っています。２つ目はトラックＧメンとの共闘ではないでしょうか。これだけ行政が動いてくれることはなかなかないと思いますし、このチャンスを活かさないとこの先、後悔しか残らないような気がします。これは私の所感ではありますが共感する方も多いのではないでしょうか

最後に、『変化を起こすには最初の一歩を恐れるな！』(ローザ・パークス）との言葉を贈り、敬愛するロジ研の仲間と共にこの難問を乗り越えていきたいと思います。

◇ 編集後記

日頃は、ロジ研の機関紙「ひびき」をご愛読頂き誠にありがとうございます。あっという間に９月に突入してしまいましたね。近年、月日の流れが早く感じるのは、年を取ったせいでしょうか。いつかは訪れる人生の終幕に向けて、一生懸命生きている証なのでしょうか？幸か不幸か、会社においても家庭においても、「おやじ」の存在をあてにされている事は、まだまだ喜ぶべきなのでしょうね(笑)

さて今年も、東ト協の最大のイベント「トラックフェスタTOKYO2023」が９月 17 日代々木公園で開催されます。

燃料高騰や 2024 年問題等、我々事業者が抱える問題は多いですが、トラック運送業界が取り組む交通安全・環境対策等についてフェスタを通じて体験並びにご理解を頂きたいと思っております。是非ともご来場を頂き、共に盛り上がって頂きたいと思っております。

まだまだ残暑が厳しい日々が続きますが、ロジ研所属の「おやじ」達もバリバリ一線で頑張っています。

引き続き、ご支援、ご協力の程お願い致します。

＜編集人　中村克敏＞